

対馬市のCATV計画

対馬市では、合併で広くなった地理的ハンデを解消するため、また国策であるIT革命の進行を進めるeJapan戦略への対応、デジタルテレビの解消、電子自治体への取組のため高度情報インフラであるFTTH方式のCATVを平成21年度完成に向けて事業を進めています。FTTH方式とは、全ての家庭を光ファイバーケーブルで接続してネットワークを形成する方式で、従来のCATVと大きく異なるのは伝送できる情報量が飛躍的に大きいということです。

対馬市は日本で3番目という大きい面積と離島というハンデのため、どうしても本土との間に情報格差が生じています。都心部では、光電話の時代が来ているのに、対馬ではブロードバンドへの接続手段であるADSLさえ、まだ島の3割のエリアでしか利用できない状況です。

このような状況では、国の進めるIT施策への対応も大きく遅れ、また今後、対馬のような離島では、デジタルテレビの格差はさらに大きくなるものと思われま。過疎の離島であるからこそ情報での過疎になつてはならないと考えています。

対馬市としては、この情報の過疎化を防ぐには、行政と市民が地域情報、行政情報、議会情報等の情報を共有する事がもっとも大切なことと考え、その共有化を実現するための手段としてCATVが最良だと考えました。

また、現在進行している地上波デジタル問題への対応も大きな課題と言え

ます。国の施策で平成23年には、従来のアナログ放送がすべて停止し、今まで見ていたテレビ受像機のままでは何も見えなくなりま。対馬の場合、ほとんどの家庭がテレビ共聴施設などを利用してテレビを見ていますが、ここ数年の間に各共聴施設はデジタル放送に対応する改修が必要です。その改修にかかる経費は各集落のテレビ共聴組合の負担となります。

しかし、このCATV計画が実現すれば、そういう経費も抑える事ができるようにになると考えています。

《主なCATVのサービス》

対馬全島、1万6000世帯を対象に光ケーブル網を整備し、従来の美津島町有線テレビ(MYT)が行つて来たサービス、テレビ同時再送信、自主放送、音声告知放送などのサービスをおこなう予定です。また、これらのサービスに加えて、インターネットや、IP電話サービス等を行う計画としています。

《CATVの効果》

議会中継を始めとする多くの行政情報を、誰もが平等に早く簡単にテレビにより入手することが出来るようになります。これにより多くの市民が行政に興味を抱き行政に参加していただけるのではないかと期待しています。

行政や、各種団体からのお知らせは、月に1度発行している広報に頼つてまいりましたが、自主放送で市民の皆様が直接にお伝えできるようになります。各地域で開催されてきたイベント等も、テレビを通じて知らせができ地域交流の拡大につながるかと考えています。

インターネットについては、IT社会と言われる現代やこれからのIT技術革新に対馬市が遅れないために不可欠なサービスであると考えられており、すぐそこまで来ている国の施策である電子自治体を実現するための必須条件とも考えています。

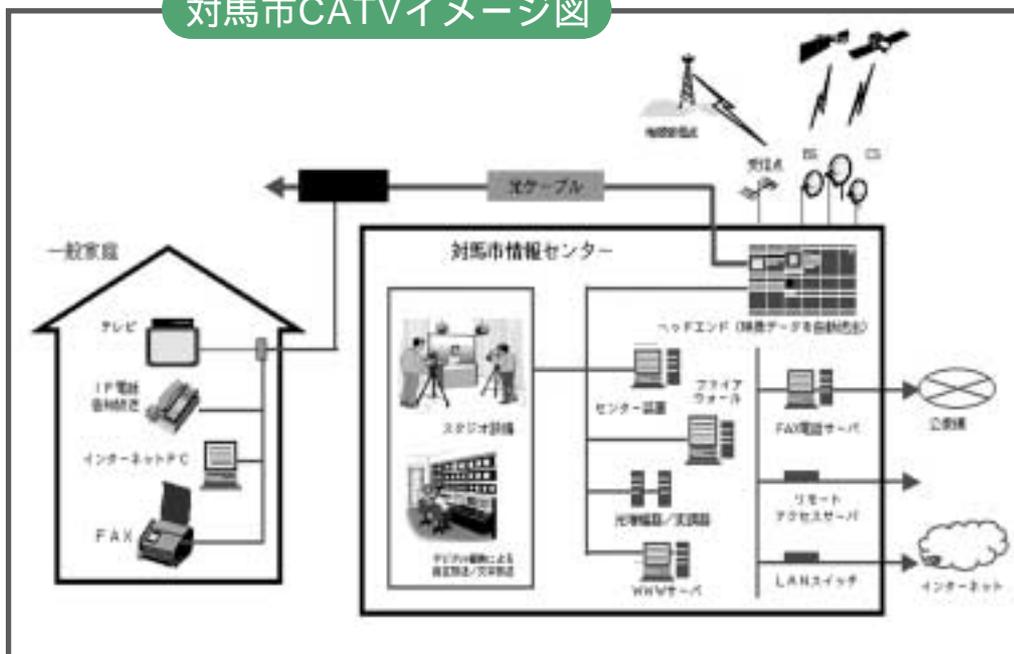
IP電話やFAXについては、島内通話無料となり島内コミュニケーションの形成に大きく貢献できると考えています。

告知放送設備については、直接ご家庭に音声告知放送ができるなどの多機能をもっており、防災面に大きく貢献できるのではないかと考えております。

その他、娯楽の少ない対馬へ、BS放送やCS放送などの多チャンネル放送を提供することで、ゆとりある生活を提供できればと考えています。

気象チャンネルや、漁場監視カメラ、学校教育システムなどのサービスも実施する予定で、経済活動、教育分野での貢献が期待されます。

対馬市CATVイメージ図



【用語の説明】
インフラ＝基盤、基礎構造、土台
デジタルテレビド＝デジタル技術の普及に伴い、それを使いこなせるか否かで二極化が起こった社会状況
ブロードバンド＝高速インターネット接続サービス

対馬市CATV事業概要図



(問合せ先) 対馬市政策部 情報政策課 TEL 0920-53-6111